

学校長挨拶

校長 松島 孝司

時下、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育研究にご協力ならびにご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本校では、これからの時代をつくりあげていくために必要な資質・能力の育成を目指し、生徒にとって最適な学びを追究してきました。昨年度から「自他の幸福のために、自ら探究し、行動する生徒の育成」を研究主題に掲げ、各教科等で育成する資質・能力をより汎用的なものにし、豊かな人生と社会をつくるために、主体的に考えて行動できる生徒の育成を目指しています。

今年度は、本研究主題による2年目の取組となります。各教科での授業公開を通して、教科の役割を明確にし、理論と実践の検証を行います。多くの皆様にご参加いただくために、対面とZoom配信によるハイブリッド型での授業公開としています。ご多用な中とは存じますが、多くの皆様に主体的に学びに取り組む生徒の姿をご覧いただき、貴重なご意見ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

研究主題について

研究主任 甲斐 旭

「自他の幸福のために、自ら探究し、行動する生徒」とはどのような生徒でしょうか。本校では、「自分を見つめ直し、クラスや学校、地域がみんなにとって過ごしやすいものにするために、課題意識を持って生活する中で、現状から自らの力で問いや課題を見出し、その解決のために必要なことを対話などを通して問い続ける生徒」と定義しています。そのような生徒を育てるためには、生徒主体の学びの中で、未知なる状況や正解のない問いに対して、対話をしつつ最適解を見いだしていくときに、1人ひとりの生徒が見方・考え方を自在に働かせ、身につけてきた資質・能力を発揮していく授業が必要です。私たちはそのような授業を「学びを発揮する授業」と呼んでいます。

今年度は、この「生徒が学びを発揮する授業」と、そこに至るまでの「見据えた授業」における手立てに焦点化して研究を進めています。分科会においては、多くの先生方から忌憚のないご意見をいただき、研究の更なる発展につなげていきたいと考えています。

申し込みから当日の参加まで

下のQRコードを読み込み、PassMarket (パスマーケット) 上で必要事項を入力してください。
参加費についてもPassMarket上で振り込みをお願いいたします。(手数料は参加者負担となります。)

QRコード



【参加費】 一般：1,000円 学生：500円

- ※ いただいた個人情報は、当研究発表会の運営以外には使用いたしません。
- ※ 準備の都合上、**10月31日(木)まで**にお申し込みください。
- ※ 駐車場を準備しておりますが、数に限りがございます。申し訳ありませんが、乗り合わせや公共交通機関のご利用等、ご協力をお願いします。
- ※ 当日の資料については、お申し込みの際に入力されたメールアドレスにリンクを送らせていただきます。当日の配付はございませんのでご了承ください。

問い合わせ



熊本大学教育学部附属中学校 担当：主幹教諭 河本 健二
〒860-0081 熊本市中央区京町本丁5-12
TEL:096-355-0375 FAX:096-355-0379
URL:https://www.kumamoto-fuchu.ed.jp

自他の幸福のために、 自ら探究し、行動する生徒の育成 ～学びを発揮する生徒の姿の実現に向けて～



1. 期日：令和6年**11月8日(金)** 12:30～16:45
2. 会場：熊本大学教育学部附属中学校
(対面・Zoom配信によるハイブリッド型での開催)

主催：熊本大学教育学部附属中学校
後援：熊本県教育委員会
熊本大学教育学部同窓会
熊本大学教育学部附属中学校教育後援会

熊本市教育委員会
熊本大学教育学部附属中学校同窓会

当日の日程について

11:50	12:30	12:45	13:05	13:55	14:10	15:00	15:15	16:45
受付	基調提案	移動	公開授業①	移動	公開授業②	移動	分科会	

※基調提案は受付後、附属小学校多目的ホールで実施します。
 ※閉会行事は行いません。分科会ごとに終了となります。

多くのご参加を
お待ちしております。

公開授業・実践発表について

	教科	授業者	学年	単元名	教科からの提案	発揮する見据えた	研究協力者	助言者(上段:授業実践アドバイザー、 下段:研究推進アドバイザー)
公開授業①	数学	船山 英朗	2年	一次関数	数学科では、日常の事象から生まれる問題を、自ら数学を使って解決に向かう生徒の育成を目指しています。今回の授業では、事象を数学化する過程において、①解決したいという意欲が高まる、②どんな問題を解決するとよいのか考える、③その問題を解決するためには何かが必要か考える、④数学を使って解決できる状態の問題に整える、というサイクルを生徒が試行錯誤しながら回し、問題解決に向かうための手立てを提案します。	見据えた	熊本市立飽田中学校 越地 真人 熊本市立鹿南中学校 宇佐美 雅史 菊池市立菊池南中学校 宮本 崇史	熊本市立帯山中学校 校長 桃崎 剛寿 熊本大学教育学部 准教授 吉村 昇
	国語	岩下 嘉邦	3年	あなたにとって小説とは? ~『故郷』から私たちが学べることを探究しよう~	3年生では、「読むこと」領域の学習において「あなたにとって読書とは?」という年間を通した言語活動に取り組んでいます。本単元では「読む/書く/話す/聞く」という各領域の学習を関連させ、最終的に「あなたにとって小説とは?」の答えをそれぞれが見出していく学習を行います。教科書教材『故郷/魯迅』を学習の中心に置き、「社会変革」というテーマに関する他の説明的文章と読み比べ、それぞれの作品から学べることをまとめていく学習を目指します。	発揮する	熊本市立託麻中学校 岩野 満 熊本市立江原中学校 杉崎 勢 山鹿市立山鹿中学校 後藤 葵	熊本市立竜南中学校 校長 濱田 浩美 熊本大学教育学部 准教授 北川 雅浩
	家庭	上國料 由己子	1年	よりよい住生活	人や社会を幸せにする「よりよい生活」とは何だろう。見方・考え方を軸にした「よりよい住生活」についての概念形成を図りながら、自らの最適解を創りだしていく生徒の育成を目指しています。今年度は、問題発見から課題設定、課題解決という過程を大切に学びを進めてきました。住生活の学習の終末で、これまでの学びを相互に関連させながら考えをを広げ深めていきます。よりよく生きることに繋がる学びの総括となる授業を目指します。	発揮する	熊本市立錦ヶ丘中学校 立山 美奈 熊本市立東部中学校 島田 亜希子 熊本市立二岡中学校 酒井 都里	熊本市教育センター 主任指導主事 廣瀬 文子 熊本大学教育学部 教授 八幡 彩子
	音楽	米満 繁	2年	なぜ交響曲第5番は人々を惹きつけるのか	音楽科では、主体的な学びの中で、音楽のよさや美しさを実感する生徒の育成に向けて研究しています。本題材では、交響曲第5番を主教材とし、課題解決のために自己調整しながらその魅力に迫ります。第1楽章では形式や構成の美しさについて学習します。今回の授業では、これまでの学びから見出した第4楽章の魅力について他者と対話し、音楽のよさや美しさを実感できる学習を目指します。	発揮する	熊本市立北部中学校 野村 博幸 熊本市立日吉中学校 森田 里美 熊本市立出水南中学校 青木 栞	熊本市立必由館高等学校 校長 上野 正直 熊本大学教育学部 教授 山崎 浩隆
	保健体育	福田 晃平	2年	球技 ゴール型 アルティメット	生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現していくための資質・能力の育成を目的としています。今回の授業では、生徒が主体的に行う学習場面で、「生徒自らが課題を発見し、解決の方法を見出し、実行し、振り返る」といった探究のサイクルを自ら活用することや、その中で体育の様々な見方・考え方を働かせることで、1人ひとりが学びの深まりを実感できる授業を目指します。	発揮する	熊本市立二岡中学校 松元 祐志 熊本市立竜南中学校 有内 寛生 玉名市立玉名中学校 東 幹太	熊本市立江南中学校 校長 星田 正治 熊本大学教育学部 教授 坂下 玲子
	英語	大野 早紀	1年	Unit 8 A Surprise Party	本年度、英語科では主体的な学びを促す指導を通して、見方・考え方を自在に働かせてコミュニケーションする生徒の育成を目指しています。今回の授業では、①目的・場面・状況等を理解する、②見通しを持つ、③パフォーマンスの中で課題を発見し、修正する、④気づきを言語面・内容面で振り返る、という英語科の学習過程の中で、生徒が主体的・自律的にコミュニケーションに取り組み、学びを得られるようにするための、1年生の段階における手立てを検証・提案します。	見据えた	熊本市立東部中学校 吉田 知華 嘉島町立嘉島中学校 田上 裕登 宇城市立松橋中学校 窪田 明寿伽	熊本市立芳野中学校 校長 武藤 敦子 熊本大学教育学部 准教授 岡崎 伸一
公開授業②	社会	山本 翔	3年	公民的分野: 現代の民主政治	地理的分野において「産業の発展に必要な条件」、歴史的分野において「国際問題や紛争を解決する視点」、公民的分野において「国民はどのように政治を動かすことができるのか」について考えてきました。今回の授業では、これらの概念を土台に議論を重ね、「北方領土問題はどのようにしたら解決できるのだろうか」に対する答えを、外部人材等を活用しながら導き出します。	発揮する	熊本市立楠中学校 横山 知明 熊本市立芳野中学校 安永 杏梨 合志市立西合志南中学校 中牟田 進	熊本市立武蔵中学校 校長 猪原 英滋 熊本大学教育学部 教授 藤瀬 泰司
	理科	井上 健	2年	化学変化と原子・分子	今年度はこれまでの流れを踏襲しつつ、探究の過程と「学びの軌跡」に焦点を当て、自己調整しながら科学的に探究する生徒の育成を目指しています。今回の授業では、生徒が未知の白い粉末を質的・実体的に見つめ、解決の見通しを立て、探究の過程を通して最適解を導いていきます。生徒が自在に見方・考え方を働かせ、資質・能力を活用して未知の白い粉末を特定するために夢中で探究する授業を目指します。	発揮する	熊本市立白川中学校 中嶋 允 熊本市立長嶺中学校 川田 裕貴 山鹿市立山鹿中学校 布田 賢次郎	熊本市立鹿南中学校 校長 坂田 孝久 熊本大学教育学部 教授 渡邊 重義
	美術	古閑 健育	3年	今の自分 これからの自分	これまでの授業で、生徒それぞれが心の内を見つめ自画像を描く表現活動をしてきました。その中で、造形的な見方・考え方を自在に働かせながら粘り強く考え、自ら表現方法を探求し作品と向き合ってきました。今回の授業では、その過程で考えたことや学んだことなどの発表を中心とした作品の鑑賞会を行います。対話を通して学びを深め新しい意味や価値を見いだしていき、表現することや鑑賞することの面白さを生徒が実感してける授業を目指します。	発揮する	熊本市立錦ヶ丘中学校 松本 美紗都 熊本市立河内中学校 清田 明日香 嘉島町立嘉島中学校 野口 良美	熊本市立桜木中学校 校長 林田 敬二郎 熊本大学教育学部 教授 喜久山 悟
	技術	内田 有亮	2年	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	作成したコンテンツのプログラミングで設定した課題が解決できたかを、情報の技術の見方・考え方を働かせながら評価し、改善・修正する授業を展開します。個人やグループ内で相互に評価をしたりする中で、対話を効果的に使いながら、どうすれば社会面、安全面、経済面、環境面の4側面のバランスを取り、よりよい生活や持続可能な社会の実現につながるかという技術科の本質である最適化を目指します。	見据えた	熊本市立竜南中学校 竹財 大輝 山都町立清和中学校 西 陽平	熊本市立京陵中学校 教頭 城下 宗一郎 熊本大学教育学部 教授 田口 浩継